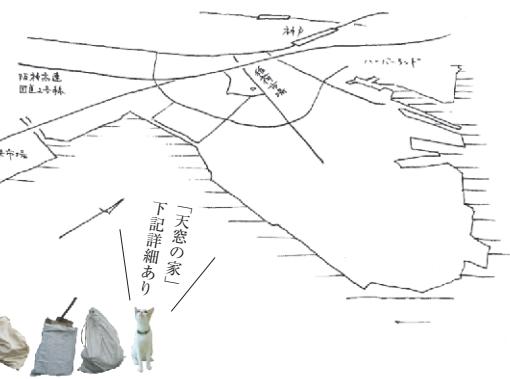


まちのレシピ その①

まちをつくるには建築だけではありません。コミュニケーションも大切な要素のひとつ。今回は、壁や床に電気配線を「隠し」て「味」つける電気工事の様子をご紹介しましょう。

文・写真=赤松麻衣 もしもし広報担当

天窓の家
完成!

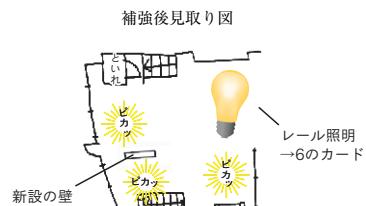


1 今回の題

隠し味の
つけ方

住みコミニケーションプロジェクト

2 照明をつけた箇所



壁を設置した後の電気工事なので、配線を壁や天井に隠して回していきます。照明は引っ掛けシーリングと白熱球を組み合わせ、シンプルな味つけにしました。

3 今月の逸材

らいーっす



中畑ホルモン屋で出会った、電気工事の大井義和さん。電気工事を全て引き受けいただき、大活躍してくれました。欠かせないスペイクの効かせ役です。

4 電気の鉄人

照明は事務所、工房、キッチンにそれぞれ2つずつ、土間に1つ配置することにしました。

豊富な知識を持つ大井さんに全体像を伝えると、アイデアがどんどん湧いてきます。電気配線の基本的な話や、「こうすればこんな味ができる」という仕上げの話まで、電気にまつわる知識をたくさん教わりました。

イメージを出し合った結果、まずはレール照明を取り付けることになりました。

不要な蛍光灯を撤去し、大井さんにバトンタッチ。ひょいひょいと簡単に電気線を切る姿は、まるで電気の鉄人のようでした。

5 鉄人の技



改装工事なので、もともと天井や壁があります。配線を回すには、その中の壁を潜らなければなりません。全てをめくって作業はできず、この時鉄人が取り出したのは「ゴッドハンド」と名付けられたチェーンでした。

鉄人によるチェーンの手さばきはあまりの早業で、見とれている間に配線が終わっていることもしばしば。

6 電気のあかり



レールの設置が完了し、照明を取り付けました。次は点灯式です。どきどきしながらスイッチを入れました。ピカッと明るくなり、『もしもし』で選んだ明かりがついたことで、喜びもひとしおです。

※「チカちゃんハウス」の電気工事は全て大井さんに引き受けさせていただきました。

7 ゴッドハンド



壁や天井を壊さず線を回す時にこのチェーンが必須。穴から入れて、ガチャガチャごごご。線を引っ掛けたり引き出す。大井さんのもう一つの手です。

8 スイッチ



工事が進むと、プレートを付けていないスイッチが壁からひょっこり顔を出し始めます。まるで壺から出てきた蛇のようです。音に合わせて今にも踊りだしそう。

9 特別なあかり

大井さんは30年以上熟成させた職人技で、いつもしびれさせてくれました。そのおかげで、「チカちゃんハウス」にはどんどん明かりがついていきました。

電気の明かりだけでなく、おいしい差し入れを持ってきてくれたり、毎日工事でへとへとな『もしもし』を元気にさせてくれました。

この工事をきっかけに「住み友（工事をきっかけに仲よくなつたまちの人）」となった大井さんは、今では毎日顔を合わせる仲です。

これで電気工事は無事終了しました。次回は水まわりとガス工事の様子を紹介します。